

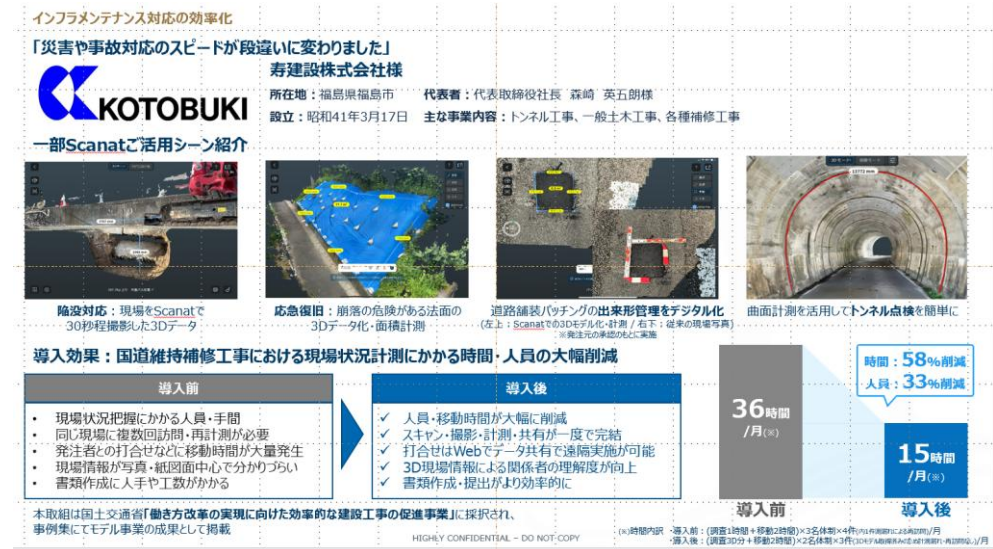
32. インフラメンテナンス対応の効率化

業 者 名 nat株式会社

本社所在地 東京都

【取組概要】

建築物の空間計測を目的に開発された3Dスキャンアプリ「Scanat」をインフラメンテナンスの現場に応用し、iPadやiPhoneを使用して現場を短時間で簡単に3Dデータ化、クラウド上で共有することで、現場状況の把握・計測・発注者との情報共有などを効率化する。現場を3Dデータ化して保存することにより、現地での再確認や移動の手間も削減することが可能になった。関係者はリアルな現場状況を共有しながら同時に画面上で計測もできるので、各種作業の効率化を実現する。



- 舗装の部分的修繕（パッチング）の出来形管理の「デジタル化」や作業箇所の「見える化」など、現場状況を3Dデータ化して管理することで、建設業者と発注者が情報共有できる体制を構築した。現場計測・確認や打ち合わせにかかる手間が大幅に削減されるため、建設作業の省人化・効率化に有効な技術である。
- iPhone・iPadとアプリを組み合わせることで、初心者でも3Dデータを簡単に作成できる。アプリなどのインストールが不要なクラウドを通じることで、外部パソコンのブラウザからでも情報共有および距離計測が可能な技術である。従来の写真・手書きを主とした作業からの変革を実現する先進的な取り組みである。
- 必要なツールはiPhone・iPadとアプリのみであるため、初心者でも簡単に使用することが可能である。さらに、初期投資が少なく、月額料金も安価なため、導入や試行も容易である。クラウドを通じることで、ライセンスを持っていない人にも情報共有及び距離計測が可能な仕組みであるため汎用性が高い。